



ベートーヴェン:交響曲第8番

Beethoven: Symphony No.8

日本センチュリー交響楽団 × 久石 譲 (首席客演指揮者 2021年4月就任予定)

Japan Century Symphony Orchestra × Joe Hisaishi



ショスタコーヴィチ:交響曲第5番

Shostakovich: Symphony No.5

大阪フィルハーモニー交響楽団 × 尾高 忠明 (音楽監督)

Osaka Philharmonic Orchestra × Tadaaki Otaka



©飯島隆



©飯島隆

4者4様!「古典をめぐる旅」

4オケの4大シンフォニー2021

4 symphonies by 4 orchestras in Osaka 2021



メンデルスゾーン:交響曲第4番「イタリア」

Mendelssohn: Symphony No.4 "Italian"

大阪交響楽団 × オーラ・ルードナー (客演指揮者)

Osaka Symphony Orchestra × Ola Rudner



©飯島隆

シベリウス:交響曲第2番

Sibelius: Symphony No.2

関西フィルハーモニー管弦楽団 × 飯守 泰次郎 (桂冠名誉指揮者)

Kansai Philharmonic Orchestra × Taijiro Imori



©金子力

2021 **4/17** [土] 14:00開演 (13:00開場) *18:00終演予定 **フェスティバルホール**

大阪市北区
中之島2-3-18

チケット料金 (全席指定・消費税込み)

S席 9,500円 / A席 7,500円 / SS席 11,000円 / BOX席 1 **完売** 0円 / パルコニーBOX席 (2席セット) 1 **完売** 0円 / 学生席 3,500円

*パルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約・窓口販売のみ

*学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売 (25歳以下 / 学生本人の名前でご予約ください / 当日指定席と引き換え / 引き換え時、学生証をご提示ください)

チケット・お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) <https://www.festivalhall.jp> (要事前登録)

大阪交響楽団

072-226-5522 (平日10:00~17:00)

大阪フィル・チケットセンター

06-6656-4890 (平日10:00~18:00 / 土曜10:00~13:00 / 日祝休み)

関西フィルハーモニー管弦楽団

06-6577-1381 (平日10:00~17:00 / 土曜10:00~16:00 / 日祝休み)

センチュリー・チケットサービス

06-6848-3311 (平日10:00~18:00)

チケットぴあ

<https://t.pia.jp> 0570-02-9999 [Pコード:190-313]

ローソンチケット

<https://l-tike.com/> [Lコード:54711]

CNプレイガイド

<https://www.cnplayguide.com/> 0570-08-9990

e+(イープラス)

<https://eplus.jp/>

セブンチケット

<http://7ticket.jp/sc/21nh>

主催:朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団

協賛:朝日放送グループホールディングス、サントリーホールディングス、竹中工務店

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

4者4様、「古典をめぐる旅」。クラシカルで明快、春らしい4曲をどうぞ。

ベートーヴェンの交響曲第8番は比較的古典的な形式で書かれているといわれ、小ぶりで明るく、軽快な作品として愛されています。ショスタコーヴィチには、大人の事情がありました。前衛的な作風を当局から批判され、交響曲第4番を取り下げて第5番を発表。わかりやすく古典的なスタイルが評判に。メンデルスゾーンは古風な形式を好み、「古典主義的ロマン派」と呼ばれた作曲家。交響曲第4番「イタリア」も例外ではありません。「複雑でムズカシイ」と言われることもあるシベリウスの交響曲の中で、第2番は例外。カンタービレなメロディに満ち、最も親しまれる1曲です。ちなみに……メンデルスゾーンの4番とシベリウスの2番は共に、作曲者のイタリア旅行の印象から生まれました。あなたのイタリアのイメージと重ねてみては？

1 久石 譲 [指揮] 日本センチュリー交響楽団

Message

4月1日に日本センチュリー交響楽団首席客演指揮者に就任して最初の演奏会になります。僕自身も予定していた海外を含めほとんどの公演が延期となりました。こうして公演ができる喜びをお客様と共に分かち合える事をとても嬉しく思っています。Up-to-dateなベートーヴェンをお楽しみください。8番はベートーヴェンの交響曲の中でも一番気に入っています。春にふさわしい澄冽とした楽曲です。お客様に喜んでもらえ、再び聴きに來たいと思ってもらえるようなコンサートにしたいと思います。



©Omar Cruz

Profile

大阪府豊中市に本拠地を置くオーケストラ。1989年に活動を開始し、2019年には楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍し、飯森範親が首席指揮者を、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め多彩な活動を行っている。ザ・シンフォニーホールや豊中市の芸術拠点である豊中市立文化芸術センターなどで定期的に演奏する他、地域発展や教育プログラムにも力を入れている。

2021年4月より首席客演指揮者に就任する久石譲は、2004年7月、新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラの音楽監督に就任。2014年に「MUSIC FUTURE」を始動。2019年7月にフューチャー・オーケストラ・クラシックスをスタートさせ、ベートーヴェン：交響曲全集をリリースし、2019年度第57回レコード・アカデミー賞特別部門特別賞を受賞。

2 尾高忠明 [指揮] 大阪フィルハーモニー交響楽団

Message

全世界共有の難事で2020年のこの催しは延期になり、世界中から3ヶ月以上オーケストラの音が消えました。いま、徐々に元に戻りつつあることに大きな喜びを感じているのは、聴衆の皆さんも私たち音楽家も同様です。2021年の4オケではより一層の前進、言ってみれば、コロナ禍以前以上の素晴らしい音楽界を目指して皆で前向きに明るく前進していきましょう。ショスタコーヴィチは交響曲第4番で酷評され、作曲家生命を絶たれそうになり不幸のどん底でした。そのような時にこの第5番で見事な復帰を果たしました。それが、アイロニー満載の名曲を生み、ソビエト政府を見事に騙し、彼らの賛同を引き出した上に、聴衆の心も掴んだ苦心の労作です。私たちがコロナ禍去っての素晴らしい世界を目指し、ショスタコーヴィチの成功にあやかりたいと願わずにはいられません。



© Martin Richardson

Profile

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次、井上道義の後を受け、2018年4月より尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール（大阪・中之島）を中心に全国各地で演奏活動を展開している。

尾高忠明は国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ベルリン放送響など世界各地のオーケストラへ客演。現在、NHK響正指揮者、BBCウェールズ・ナショナル管絃冠指揮者、札幌響名誉音楽監督、東京フィルハーモニー響桂冠指揮者、読売日響名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管絃冠名誉指揮者を務める。

3 オーラ・ルードナー [指揮] 大阪交響楽団

Message

親愛なる聴衆の皆様・音楽愛好家の皆様、2020年をはじめから、世界は劇的に変化し、生活を変え、経済と多くの人々の生活を破壊しました。大阪交響楽団を指揮するために、大阪へ戻れることは大きな期待と喜びです。

今回のプログラムは、メンデルスゾーンの交響曲第4番「イタリア」です。メンデルスゾーンがイタリア旅行中に部分的に作曲し、メンデルスゾーンの感じたイタリアの喜び、活気、美しい風景、太陽の暖かさを感じられる作品です。

あなたが聴く音楽を作るために、最高のレベル、最高の音楽の深さで私たちは、あなたのために演奏します。

どうぞ楽しんでください！



©Marinko Belanov

Profile

1980年創立の大阪交響楽団は、永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！」をモットーに提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。名誉指揮者 外山雄三、正指揮者 太田弦。オーラ・ルードナーは、ヴァイオリニストとしてバガニニ国際コンクール入賞、ウィーン・フォルクスオーパー、ウィーン響などのコンサートマスターとして活躍した後、1995年フィルハーモニア・ウィーンを設立。タスマニア響、ボルツァーノ・ハイドン・オーケストラ、ヴェルテンベルク・フィルの首席指揮者を務めた。フランクフルト放送響、メルボルン響、シュトゥットガルト放送響、ウィーン室内管、ヴェローナ野外オペラ、トーンキューストラ管へ客演を重ねている。

4 飯守泰次郎 [指揮] 関西フィルハーモニー管弦楽団

Message

2021年の春、私は新たな気持ちをもって、いかにも大阪らしい華やかで大胆なこの「4オケ」コンサートに取り組みたい、と意気込んでおります。私は、民族に深く根差している国民楽派の音楽が大好きで、関西フィルと長い時間をかけて積み重ねてきたレパートリーの大きな柱の一つでもあります。その中でも特に愛着をもっているシベリウスの作品から、交響曲第2番を選びました。寒くて暗く長いフィンランドの冬、しかしそれを追い払うかのような、シベリウスの音楽の熱狂的なエネルギーを、関西フィルと共に皆様にお届けしたいと思います。



©武勝 佳

Profile

1970年発足の関西フィルは、オーギュスタン・デュメイ音楽監督のほか、首席指揮者藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の3指揮者を擁している。2014年10月よりスタートしたBSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜 8:30~)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡るヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。2020年に楽団創立50周年を迎えた。

指揮者飯守泰次郎は1940年生まれ。桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。ヨーロッパの歌劇場で積み上げてきたオペラに対する深い造詣、特にワーグナー作品を積極的に日本楽壇へ紹介してきた功績には特筆すべきものがあり、2014年~18年には新国立劇場の第6代オペラ芸術監督を務めた。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者、関西フィル桂冠名誉指揮者、旭日小綬章(2010年)など受賞歴多数。

朝日カルチャーセンター・リハーサル見学会

主催：朝日カルチャーセンター、朝日新聞文化財団、朝日新聞社

公演に向けて出演者の集中力が高まる前日リハーサル。2楽団のホール練習を1時間ずつ見学します。

日時・会場：2021年4月16日(金) 12:00~14:30(予定)、フェスティバルホール

12:10~13:10 センチュリー響のリハーサル後半を見学／休憩20分／13:30~14:30 大阪フィル

のリハーサル前半を見学

参加料：2,200円(消費税込み)／定員：50人

■ご予約(※受付は電話のみ)

朝日カルチャーセンター中之島 06-6222-5224 (月~土 9:30~18:30、日・祝除く)

詳細は—<https://www.asahiculture.jp/nakanoshima>

※先に公演チケットをフェスティバルホール チケットセンター、各プレイガイド等でお求めください。見学会申し込みの際に席番をお伺いします。見学会のみの申し込みはできません。※見学会は当日、ご案内します。※先着順。定員になり次第締め切ります。